

ダイレクト無線アンドン
【ANU-429】
【ANUH-429】
【ANUM-429】

取扱説明書

V1.10

目次

第1章. お使いになる前に.....	1
1-1. はじめに.....	1
1-2. 付属品.....	1
1-3. 安全上のご注意(必ずお読み下さい).....	2
1-4. 概要.....	5
1-5. 機器構成.....	5
1-6. 仕様.....	7
1-7. 各部の名称と説明.....	9
1-8. 寸法図.....	11
1-9. 設置方法.....	12
1-9-1. 設置時の注意事項.....	12
1-9-2. 送信機の設置.....	12
1-9-3. 表示装置の設置.....	12
1-9-4. 表示装置内部端子への接続.....	13
1-9-5. 出力回路.....	14
第2章. 使い方.....	15
2-1. 表示装置の設定.....	15
2-1-1. 通信チャンネルの設定.....	16
2-1-2. IDの設定.....	17
2-1-3. 表示方法の設定.....	17
2-1-4. 出力時間.....	17
2-1-5. 表示位置の設定.....	18
2-1-6. 無線モデム「TELEMATEⅢR」の設定.....	18
2-2. 送信機の設定.....	19
2-2-1. 通信チャンネルの設定.....	19
2-2-2. IDの設定.....	19
2-2-3. 通信設定.....	19
2-2-4. 入力判定時間.....	19
2-2-5. 入力接点論理.....	20
2-2-6. ボーレート設定(通信速度).....	20
2-3. 動作説明.....	21
2-4. 使用上の注意.....	21
第3章. 取扱上にあたって.....	22
3-1. トラブルシューティング.....	22
3-2. おかしいな?と思ったら.....	22

3-3. 保証.....	23
4. オプション.....	25
4-1. メロディホン(オプション対応).....	25
4-1-1. メロディホンの動作.....	25
4-1-2. メロディホン付き表示機寸法図.....	25
4-1-3. 音色の選択.....	27

第1章. お使いになる前に

1-1. はじめに

この取扱説明書には、本製品の概要、設置及び操作など、本製品をお使いいただく上で必要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前によくお読み下さい。また、いつでもご利用頂けますよう大切に保管して下さい。

本製品は、送信機として「WCP-429」を利用することを前提にしています。送信機は、「特定小電力無線局テレメータ用及びテレコントロール用無線設備」として技術基準適合証明を受けております。

この取扱説明書には主に表示装置「ANU-429シリーズ」について記載しています。送信機「WCP-429」及び増設ユニット「WCP-232」については表示装置「ANU-429シリーズ」をご利用になる上で必要な事項のみを記載していますので、詳細についてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

テレメータ用及びテレコントロール用無線設備について

●テレメータ用無線設備

電波を利用して遠隔地点における測定器の測定結果を自動的に表示し、又は記録することを目的とする信号の伝送を行う無線設備。

●テレコントロール用無線設備

電波を利用して遠隔地点における装置の機能を始動、変更又は終止させることを目的とする信号の伝送を行う無線設備。

1. 人命や他の機器・装置に被害及び損傷を与える恐れのある用途では使用しないで下さい。また、送信機からの電波により、誤動作する可能性のある装置の近くでは使用しないで下さい。
2. 技術基準適合証明を受けている装置を分解したり、改造することは法律で禁止されています。
3. 送信機のケースに貼ってある技術基準適合証明ラベルをはがさないで下さい。はがした状態で使用する場合は、法律で禁止されています。
4. 本装置は、日本国内専用です。

電波法は日本国内においてのみ有効です。国外で使用する場合は、使用国の法律に違反していないかご確認の上、ご利用下さい。また、本装置を電気通信回線に接続して使用することはできません。

5. 通信性能は周囲の環境によって変化しますので、設置前に通信が可能であることをご確認のうえ、ご利用下さい。

1-2. 付属品



■アンテナ TK1597 × 1本(ANU-429/ANUH-429/ANUM-429 共通)

※送信機「WCP-429」及び増設ユニット「WCP-232」は、本製品「ANU-429シリーズ」には付属しません。別途お買い求め下さい。

1-3. 安全上のご注意(必ずお読み下さい)


お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。


 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



- 全てに共通の取り扱いについて



●湿気・ほこりの多い場所での使用は避けて下さい。ほこりや水分が入り、故障・火災・感電の原因となることがあります。	 禁止
--	---

- 本機の取り扱いについて

●本機は、精密部品で作られた無線通信機器です。分解・改造はしないで下さい。事故や故障の原因となります。	 禁止
---	---











警告

■ 本機の取り扱いについて

● 人命にかかわるような極めて高い信頼性を要求される用途には、使用しないで下さい。	 禁止
● 電波が届くか届かない曖昧な範囲では、使用しないで下さい。	 禁止



■ 電源の取り扱いについて

電源コードの発熱、破損、発火などの事故防止のため、次のことは必ずお守り下さい。

● 電源コードを火に近づけたり、火の中に入れて下さい。電源コードが破裂・発火して事故の原因になります。	 禁止
● ACアダプタ・本体は、破損・発火事故防止のため、指定された電源電圧以外では使用しないで下さい。	 禁止
● 濡れやすい場所で、ACアダプタ・本体を使用しないで下さい。発熱・発火・感電などの事故や故障の原因となります。	 禁止
● 濡れた手でACアダプタ・本体・電源コード・コンセントに触れないで下さい。感電などの事故の原因となります。	 禁止
● 電源コードを破損させないで下さい。ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。	 禁止
● 電源プラグにほこりが付着したままで使用しないで下さい。ショートや発熱により火災や感電の原因になります。	 禁止
● ACアダプタに強い衝撃を与えないで下さい。事故や故障の原因になることがあります。	 禁止
● ACアダプタの変形などに気づいたら、使用しないで下さい。事故や故障の原因になることがあります。	 禁止
● 引火性ガスが発生する場所では、本体を充電しないで下さい。発火事故などの原因になります。	 禁止
● 絶対にACアダプタを分解しないで下さい。事故や故障の原因になることがあります。	 禁止

■使用中に異常が発生したときは

火災・感電等の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社に修理を依頼して下さい。

●煙が出たり、変なおいがあるときは使用を中止し、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社に修理を依頼して下さい。	 注意喚起
●電源コードが傷んだら使用しないで下さい。 そのまま使用すると火災や感電の原因になります。	 禁止

■無線通信の信頼性について

無線通信は有線通信と異なる性質があり、下記要因により通信エラーが発生することがあります。

- ・通信距離を越えてしまっている。
- ・デッドポイントに入ってしまった。
- ・強い妨害電波がある。

頻繁に妨害される場合、また、妨害されることが運用上問題である場合は、使用を中止し妨害の原因を排除してからご使用下さい。

また、上記要因以外にも電波を受信できない状況が発生することがありますので、予めご理解の上、御使用下さい。

※デッドポイントとは、送信機から発信された電波が壁などで反射された電波に影響され電波が極端に弱くなる範囲のことです。

1-4. 概要

ダイレクト無線アンドン「ANU-429シリーズ」は送信機「WCP-429」に入力された接点信号の状態により表示装置「ANU-429/ANUH-429/ANUM-429」の表示灯の点灯消灯を制御する装置です。

表示装置の表示灯は緑色と赤色を点灯消灯することにより、“赤色”“緑色”“オレンジ”(赤色と緑色を同時点灯)の3色を表示することができます。

WCP-429への入力信号は最大16点で、赤色LED用と緑色LED用に振り分け各窓の点灯色を制御することができます。また、WCP-429に接続して使用できる増設ユニット「WCP-232」を接続することにより入力点数は合計で48点となり、表示灯を最大24窓分制御することができます。

WCP-429は、入力専用設定(常時送信)で使用します。

WCP-429は、429MHz帯を利用した特定小電力無線局で屋内約120m程度の通信が可能です。

※通信距離は環境により大きく変動することがあります。

- ①通信チャンネルを1～40chまで設定できます。
- ②最大24窓分の表示をWCP-429+WCP-232で制御できます。
- ③表示装置は両面表示のため、確認できるエリアが広がります。

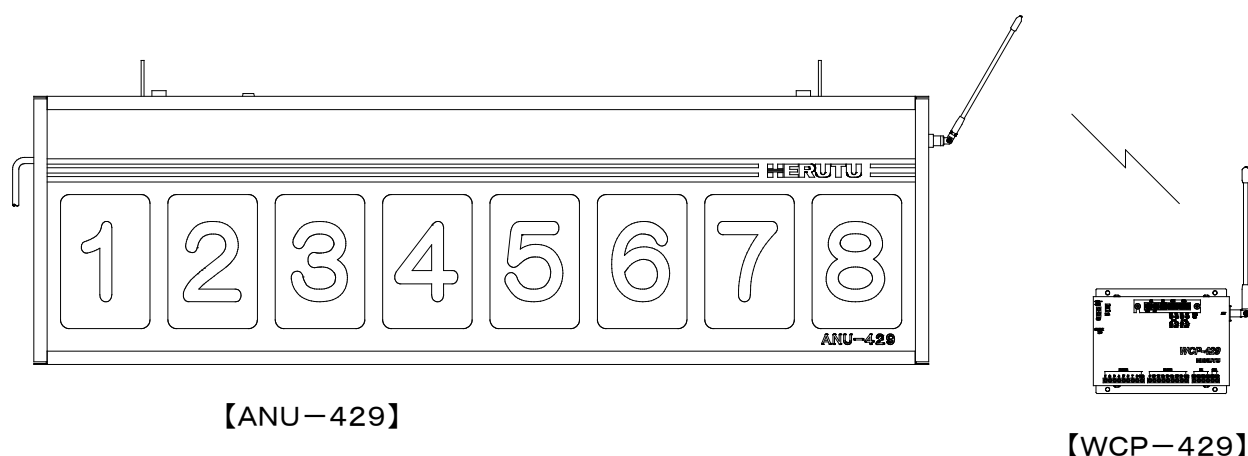
1-5. 機器構成

本装置は、以下の機器で構成されます。

■送信機 「WCP-429」及び増設ユニット「WCP-232」

■表示装置 「ANU-429」/「ANUH-429」/「ANUM-429」

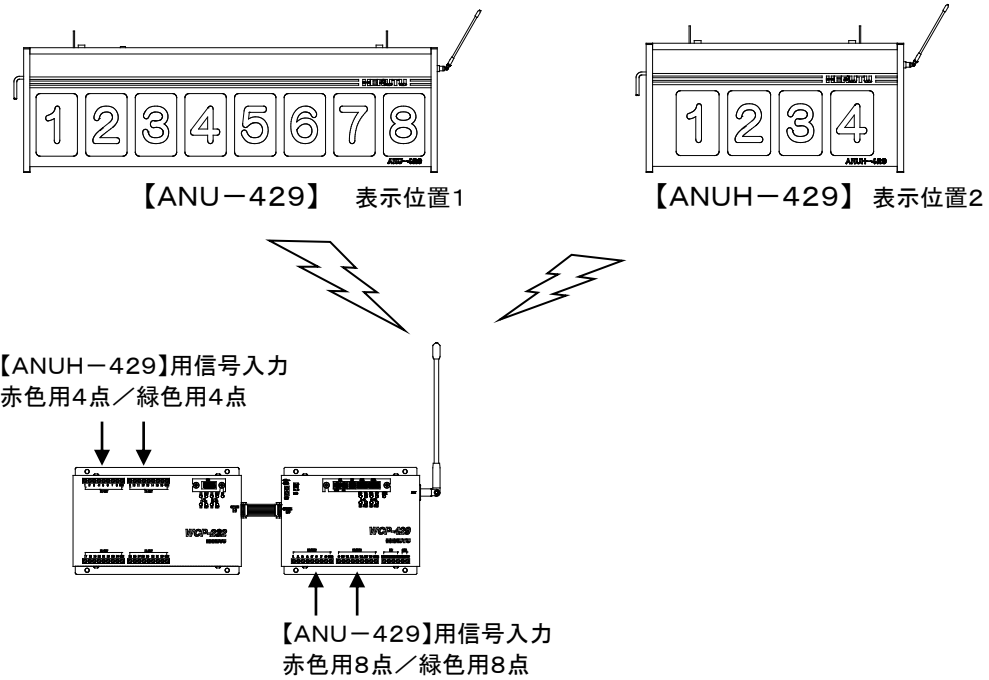
表示装置は、内部設定によりWCP-429及びWCP-232のどの入力信号に対して表示を行うかを決めることができますので、表示装置の選択肢が広がるとともにいろいろな組み合わせで使用することができます。



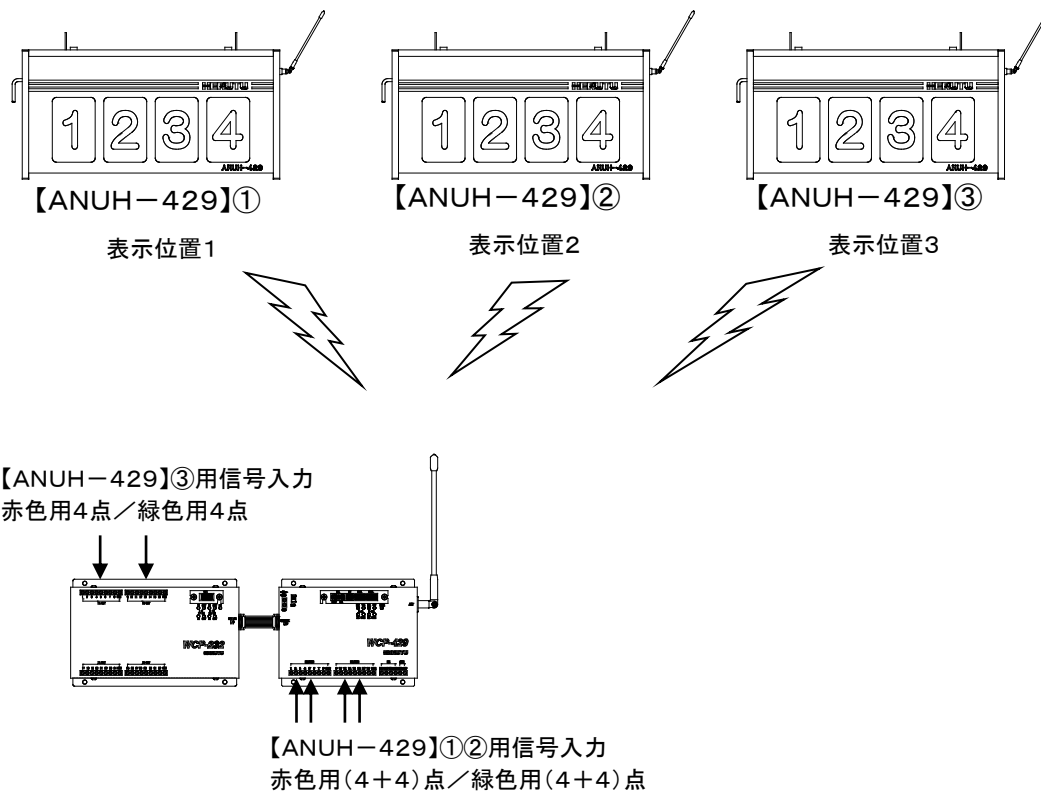
※AN426及びAN426 IIシリーズとは通信できません。

機器構成例

例1) WCP-429+WCP-232 1台→ANU-429(8窓) 1台とANUH-429(4窓)1台



例2) WCP-429+WCP-232→ANUH-429(4窓) 3台



1-6. 仕様

共通項目

項目	仕様
通信周波数	429.2500MHz～429.7375MHz (12.5kHzステップ 40波)
電波形式	F1D
アンテナ	$\lambda/4$ ホイップアンテナ
変調方式	直接2値FSK
変調速度	1200bps
通信	受信専用
出力端子	オープンコレクタ出力×4 最大定格負荷 DC35V 50mA リレー出力×1(PhotoMosリレー) 最大定格負荷 AC/DC30V 0.5A
入力端子	電源入力×1(AC100～120V)
表示素子	3色LED表示(緑、オレンジ、赤) * オレンジは色合いに多少のバラツキがあります。
電源	AC100V(AC100～120V) ※1
使用環境	温度:0～40℃ 湿度:30～85%以下(結露無きこと)

※1:改造によりAC100～240Vタイプに変更することができます。

【ANU-429】大型8窓

項目	仕様
表示内容	表示灯×8窓 両面表示
表示寸法	150H×100Wmm/1窓
消費電流	MAX90W
寸法	1000W×300H×80Dmm(突起物は含まず)
重量	約8kg

【ANUH-429】大型4窓

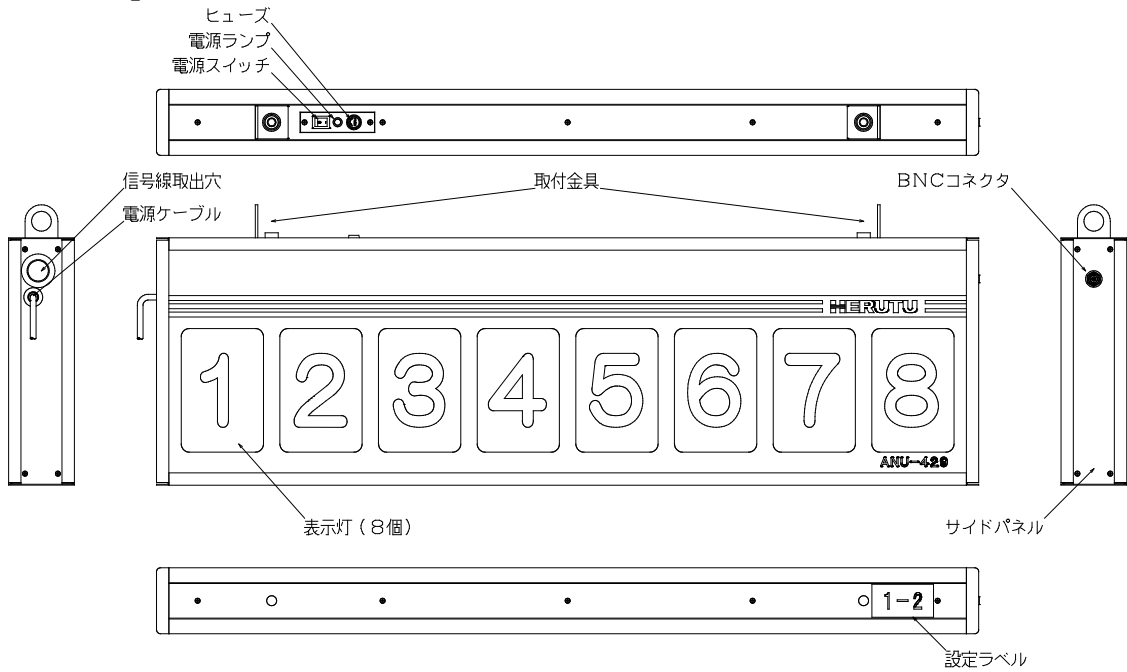
項目	仕様
表示内容	表示灯×4窓 両面表示
表示寸法	150H×100Wmm/1窓
消費電流	MAX44W
寸法	600W×300H×80Dmm(突起物は含まず)
重量	約5.3kg

【ANUM-429】中型8窓

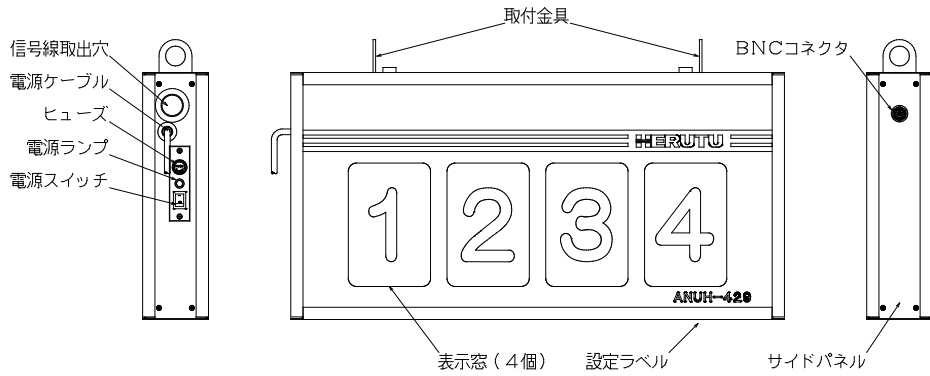
項 目	仕 様
表示内容	表示灯×8窓 両面表示
表示寸法	50H×90Wmm/1窓
消費電流	MAX33W
寸法	600W×300H×80Dmm(突起物は含まず)
重量	約5.8kg

1-7. 各部の名称と説明

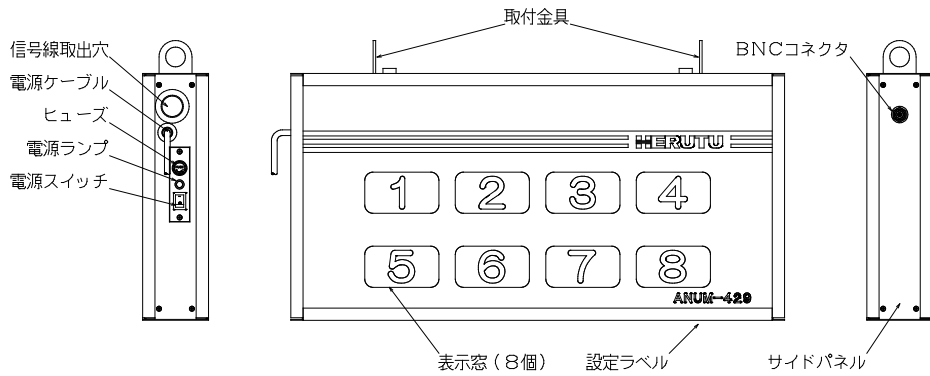
【ANU-429】



【ANUH-429】



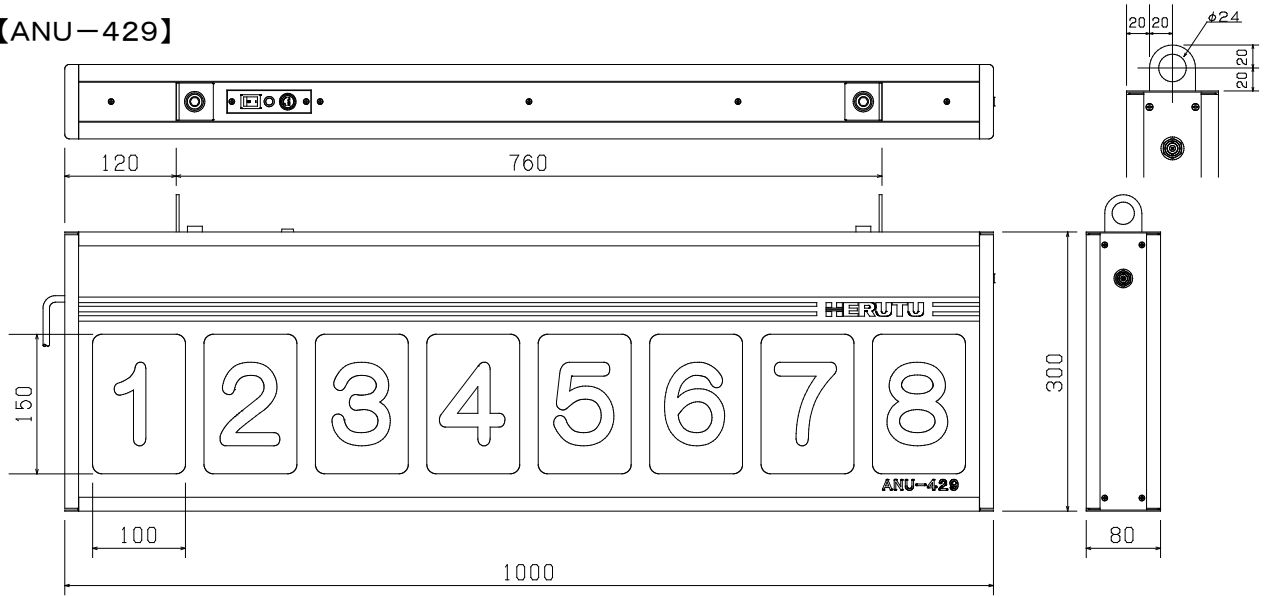
【ANUM-429】



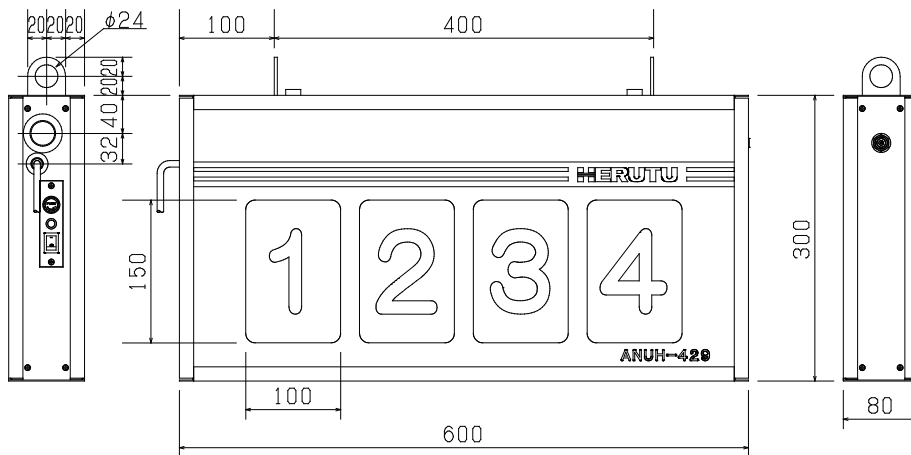
項目	内容
取付金具	表示機の固定に使用してください。
BNCコネクタ	付属のアンテナを接続します。
信号線取出穴	内部に入出力端子台がありますので、信号線はこの穴を通して接続して下さい。
電源ケーブル	プラグ付き電源ケーブルです。(約1.5m)
ヒューズ	AC125Vヒューズです。(容量は貼り付けシール参照)
電源ランプ	電源用ランプです。ランプは電源ONで点灯します。
スイッチ	本体の電源スイッチです。
表示灯	3色(緑/オレンジ/赤)LED表示です。受信した送信機の入力信号に対応する表示灯が、点灯(または点滅)します。
サイドパネル	入出力端子台への信号線の接続や、通信チャンネル/表示モード/ID番号の設定は、サイドパネルを外して行います。
設定ラベル	チャンネル/IDの設定ラベルです。 例「1-2」:チャンネル1/ID2

1-8. 寸法図

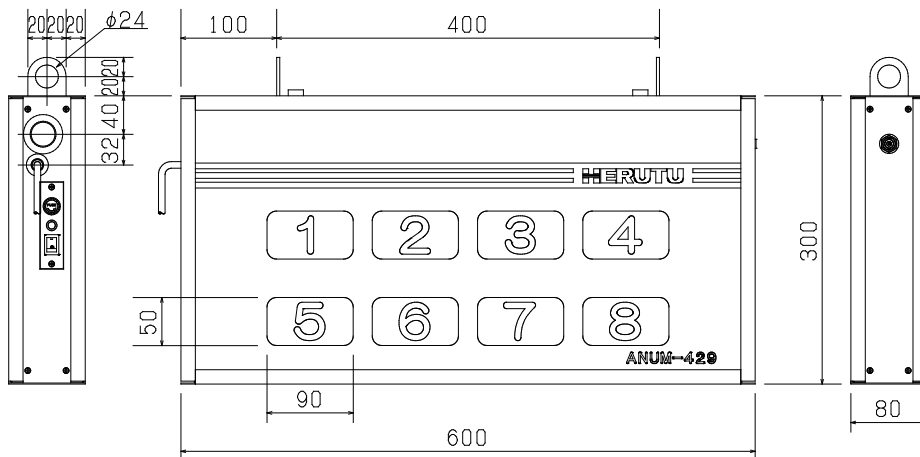
【ANU-429】



【ANUH-429】



【ANUM-429】



1-9. 設置方法

1-9-1. 設置時の注意事項

次のことに注意して設置して下さい。

- ① アンテナは金属板や電線から遠ざけ、また平行にならないようにして下さい。
- ② ノイズ発生源から離して下さい。
- ③ 送信機と表示機のアンテナ間に、遮蔽物がない場所を選んで下さい。
- ④ 通信性能は、設置環境に大きく依存します。通信が可能であるか確認の上、設置して下さい。
- ⑤ 本装置(送信機・表示機)は、防塵／防滴構造ではありません。

* 以下のような場所には設置しないで下さい。

- ・ 直射日光が当たる所
- ・ 湿度が非常に高いところ
- ・ テレビやラジオの近く
- ・ 溶接機など火花を飛ばすものの近く
- ・ 強い磁界を発生しているところ
- ・ 鉄骨や金属壁で囲まれたところ
- ・ 本装置からの電波により、誤動作をする可能性のある装置の近く

1-9-2. 送信機の設置

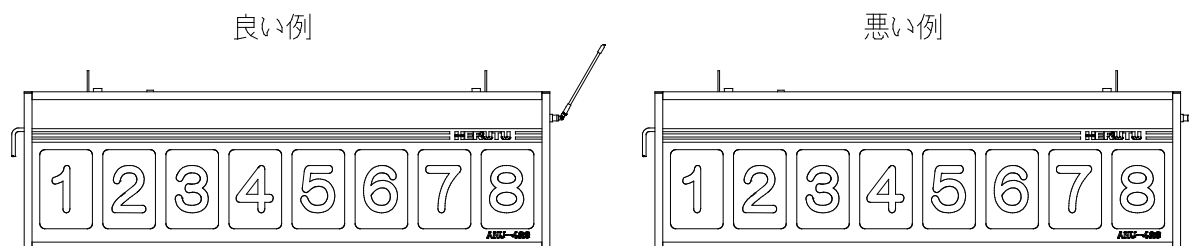
送信機「WCP-429」及び増設ユニット「WCP-232」は、設定内容が表示装置「ANU-429シリーズ」と通信できる内容であることをご確認の上、「WCP-429」及び「WCP-232」の取扱説明書に従い設置を行って下さい。

1-9-3. 表示装置の設置

表示装置は、送信機から見通しが良く、見やすい位置に設置して下さい。取付金具を利用される場合は、それぞれの表示装置の重量に耐えられる安定した場所に固定して下さい。

アンテナは斜め上方向に向けて下さい。表示装置側面に平行して下に向けて設置しないようにして下さい。

ANU-429/ANUH-429/ANUM-429共通の内容のため、ANU-429の図で説明しています。

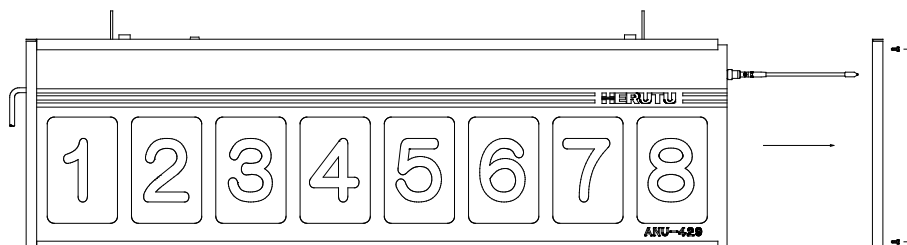


1-9-4. 表示装置内部端子への接続

表示と連動している外部出力は、内部の入出力端子台より出力します。

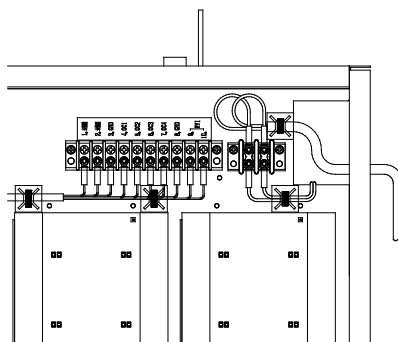
アンテナをサイドパネルと垂直にし、サイドパネルを固定しているネジ(4本)を外します。サイドパネルをアンテナに引っかからないように移動させ取り外します。

ANU-429/ANUH-429/ANUM-429共通の内容のため、ANU-429の図で説明しています。

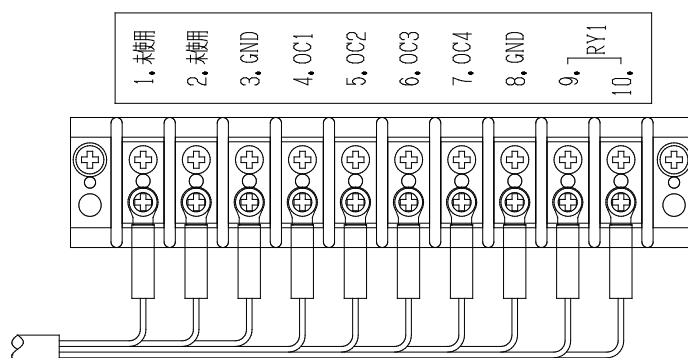


出力端子台は裏面にありますので、裏面アクリル板をスライドし取り外します。

表示装置内部(裏面)



出力端子台



- 4. OC1 : オープンコレクタ出力(オレンジ表示と連動しています。)
- 5. OC2 : オープンコレクタ出力(赤表示と連動しています。)
- 6. OC3 : オープンコレクタ出力(緑表示と連動しています。)
- 7. OC4 : オープンコレクタ出力(オレンジ/赤/緑表示と連動しています。)
- 9/10. RY1: リレー出力(オレンジ/赤/緑表示と連動しています。)

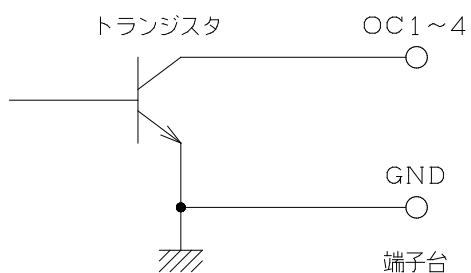
信号線は端子台に接続する前に、信号線取出穴に通して下さい。

* 出力端子台:M3ネジ

1-9-5. 出力回路

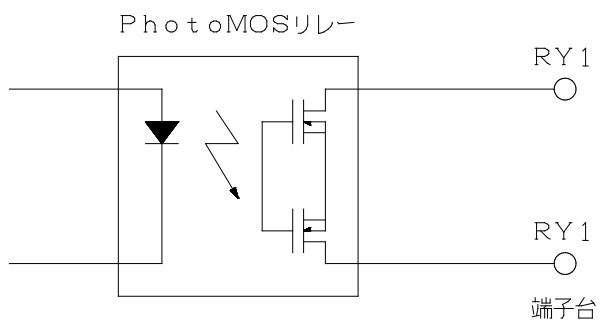
オープンコレクタ出力の最大定格負荷は、「DC35V 50mA」です。

オープンコレクタ出力回路



リレー出力の最大定格負荷は、「AC/DC30V 0.5A」です。

リレー出力回路



※ANU-429/ANUH-429/ANUM-429共通の内容です。

第2章. 使い方

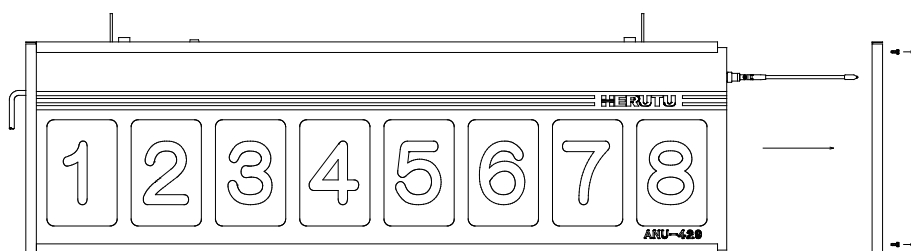
2-1. 表示装置の設定

設定は内部のCPU基板上にあるRSW1～3(ロータリースイッチ1～3)とDSW1(ディップスイッチ1)で行います。

アンテナをサイドパネルと垂直にし、サイドパネルを固定しているネジ(4本)を外します。サイドパネルアンテナに引っかからないように移動させ取り外します。

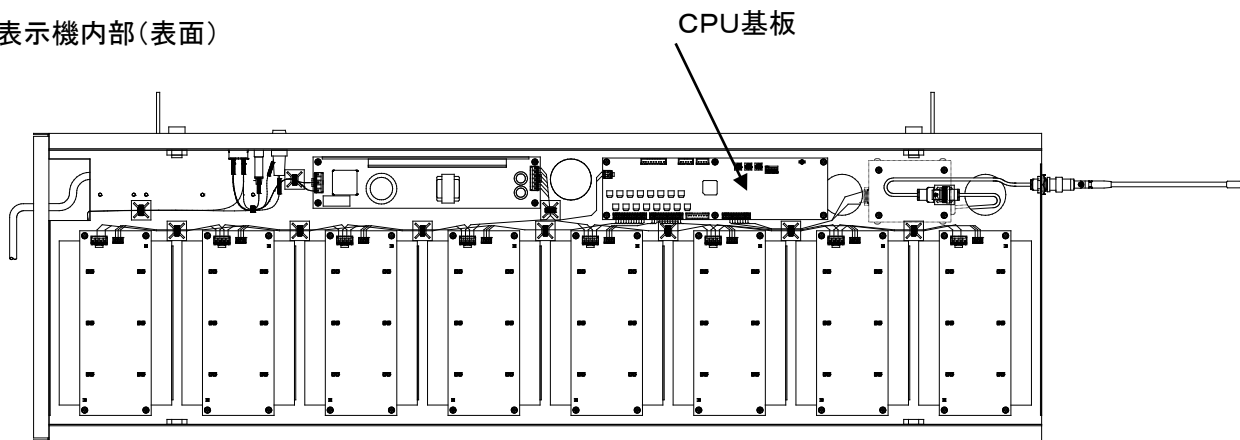
ANU-429/ANUH-429/ANUM-429共通の内容のため、ANU-429の図で説明しています。

設定変更は電源をOFFしてから行って下さい。電源ONのまま行っても変更されません。

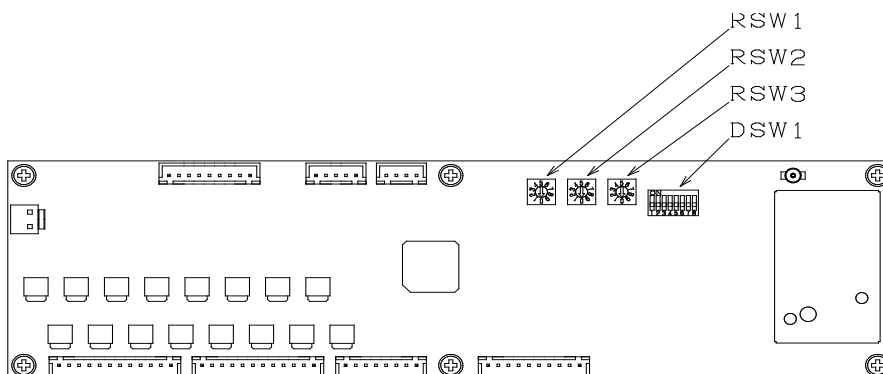


CPU基板は下図の位置にありますので、表面アクリル板をスライドし取り外します。

表示機内部(表面)

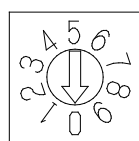


CPU基板

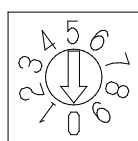


2-1-1. 通信チャンネルの設定

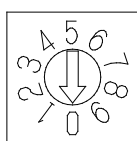
RSW1とRSW2で通信チャンネル1～40を設定します。通信チャンネルは送信機と同一に設定します。



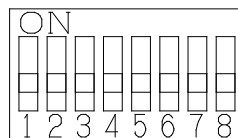
RSW1



RSW2



RSW3



DSW1

通信チャンネル	周波数(MHz)	通信チャンネル	周波数(MHz)
01	429.2500	21	429.5000
02	429.2625	22	429.5125
03	429.2750	23	429.5250
04	429.2875	24	429.5375
05	429.3000	25	429.5500
06	429.3125	26	429.5625
07	429.3250	27	429.5750
08	429.3375	28	429.5875
09	429.3500	29	429.6000
10	429.3625	30	429.6125
11	429.3750	31	429.6250
12	429.3875	32	429.6375
13	429.4000	33	429.6500
14	429.4125	34	429.6625
15	429.4250	35	429.6750
16	429.4375	36	429.6875
17	429.4500	37	429.7000
18	429.4625	38	429.7125
19	429.4750	39	429.7250
20	429.4875	40	429.7375

* 通信チャンネルが01～40以外に設定された場合は、01に設定されます。

2-1-2. IDの設定

RSW3でID0～9を設定します。IDは送信機と同一に設定します。

RSW3	ID
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9

2-1-3. 表示方法の設定

DSW1-1で表示方法を設定します。

DSW1-1	表示方法
ON	点滅
OFF	点灯

※点滅表示は1秒間隔となります。

2-1-4. 出力時間

DSW1-3で外部出力する出力時間を設定します。

DSW1-3	出力時間
ON	5秒
OFF	連続

2-1-5. 表示位置の設定

送信機及び増設ユニットのどの入力端子の表示を行うかを設定します。

4窓タイプ(ANUH-429)と8窓タイプ(ANU-429/ANUM-429)で設定内容が異なります。

DSW1-SW5~7で設定します。

■8窓タイプ(3種類)

表示位置	SW5	SW6	SW7	WCP-429及びWCP-232の入力端子	
1	OFF	OFF	OFF	赤:1-8	緑:9-16
2	ON	OFF	OFF	赤:1-8(増設)	緑:9-16(増設)
3	OFF	ON	OFF	赤:17-24(増設)	緑:25-32(増設)

■4窓タイプ(6種類)

表示位置	SW5	SW6	SW7	WCP-429及びWCP-232の入力端子	
1	OFF	OFF	OFF	赤:1-4	緑:9-12
2	ON	OFF	OFF	赤:5-8	緑:13-16
3	OFF	ON	OFF	赤:1-4(増設)	緑:9-12(増設)
4	ON	ON	OFF	赤:5-8(増設)	緑:13-16(増設)
5	OFF	OFF	ON	赤:17-20(増設)	緑:25-28(増設)
6	ON	OFF	ON	赤:21-24(増設)	緑:29-32(増設)

※上記以外の設定の場合、表示位置1で動作します。

2-1-6. 無線モデム「TELEMATEⅢR」の設定

表示装置に内蔵されている無線モデム「TELEMATEⅢR」は出荷時に設定されていますので、お客様で設定される必要はありません。設定内容は下記のようになりますので、正常に動作しない場合等は、設定内容が下記のようにになっているかご確認下さい。

CH SET. は設定不要です。

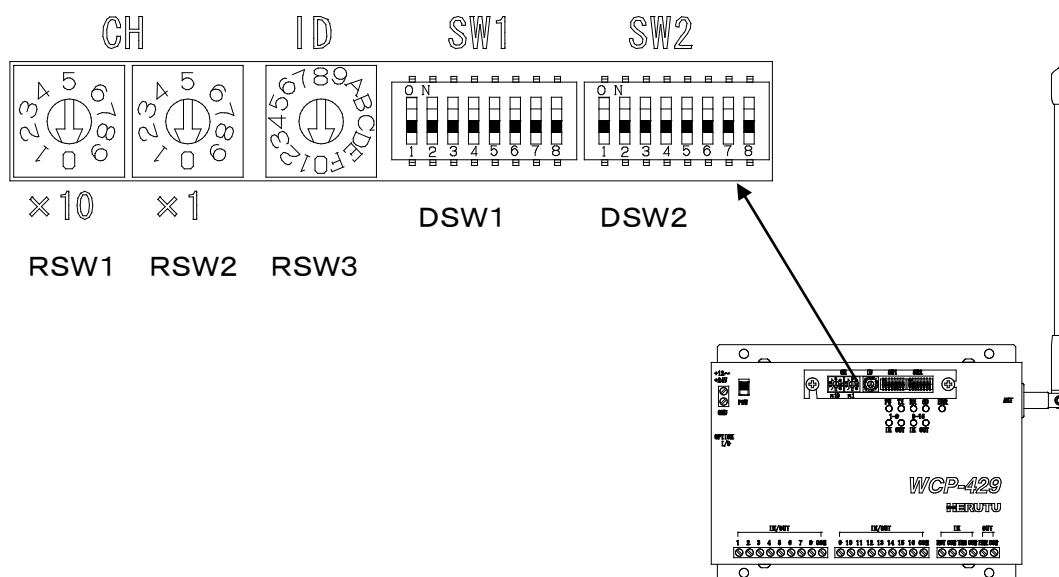
DIP SW1-5→OFF

DIP SW6→ON (「CD連動出力制御:なし」で使用します。)

DIP SW7-12→OFF

2-2. 送信機の設定

表示装置「ANU-429シリーズ」を使用するための送信機「WCP-429」の設定を行います。
WCP-429はRSWとDSWで各種設定を行います。表示装置「ANU-429シリーズ」と組み合わせるのに必要な項目だけを記載しています。



2-2-1. 通信チャンネルの設定

RSW1と2で通信チャンネル1～40を設定します。表示装置の通信チャンネルと同一の設定にします。

2-2-2. IDの設定

RSW3でID0～9を設定します。表示装置のIDと同一の設定にします。

表示装置「ANU-429シリーズ」と通信する場合は、ID A～Fの設定は無効となります。

2-2-3. 通信設定

DSW1-2～3で通信設定を設定します。表示装置「ANU-429シリーズ」と通信する場合は入力専用（常時無線送信）の設定とします。

DSW1-2	DSW1-3	設定
ON	OFF	入力専用 (常時無線送信)

2-2-4. 入力判定時間

DSW1-4で入力判定時間を設定します。御使用に合わせて設定して下さい。

DSW1-4	設定
OFF	短い(10ms)
ON	長い(100ms)

2-2-5. 入力接点論理

DSW1-7で入力接点論理を設定します。表示装置「ANU-429シリーズ」と通信する場合はノーマルに設定して下さい。

DSW1-7	設定
OFF	ノーマル(A接)

その他(出力ラッチ時間/リンクタイマー/グループNo.)の設定は、OFFとして下さい。

2-2-6. ボーレート設定(通信速度)

DSW2-4でボーレートを設定します。表示装置「ANU-429シリーズ」と通信する場合は初期タイプ用1200bpsに設定して下さい。

DSW2-4	設定
ON	初期タイプ用 (1200bps)

2-3. 動作説明

表示装置は、電源ON直後は全消灯状態となります。

表示装置は、通信チャンネル／IDが設定内容と一致するとデータを受信します。表示装置はデータを受信すると表示位置設定に対応した入力信号の内容に従い、各表示灯の表示を行います。

いずれかの表示灯が点灯(点滅)する場合、表示色に合わせて外部出力を行います。出力時間は設定内容に従い5秒出力又は連続出力です。

送信機の入力信号が一つもONしていなくても表示装置はALL OFF信号を受信し、全消灯状態とします。

送信機からの信号を30秒間受信できなかった場合は、表示・出力共に全てOFFして初期状態に戻ります。(以前の表示内容は保持しません。)

再び正常にデータを受信すると、新たに表示を行います。

2-4. 使用上の注意

- 同じエリアで同じ通信チャンネルが発信されていると電波の混信により正常に表示されないことがあります。それぞれ違う通信チャンネルに設定して通信が正常に行われることをご確認の上、お使い下さい。本機以外に同一周波数を発信する機器をご利用の場合は、本機以外の機器も含めてご確認下さい。ANU-429シリーズのみで同一エリアでご利用可能な通信チャンネルは5～7チャンネルです。
- 表示装置に使用しているLEDは経年変化により輝度が低下することがあります。
- 表示装置は屋内用に設計・製造されています。特別な防滴・防塵機能は有していませんので、適切な場所に設置して下さい。

第3章. 取扱上にあたって

3-1. トラブルシューティング

症状	原因と対策
表示されない時	正しく設置されていますか？ →電源が接続されていること／アンテナが取付られていること／電源スイッチがONになっていることをご確認下さい。 「1-9. 表示装置の設定」(P12)
	ヒューズが切れていませんか？ →ヒューズホルダーからヒューズを外して確認して下さい。切れている場合は、電源等の他の異常が無いことを確認してからヒューズを交換して下さい。
	通信チャンネル／IDが送信機と表示装置で違っていませんか？ →送信機と表示装置の通信チャンネル／IDが合っているかご確認下さい。
	表示位置の設定が違っていませんか？ →送信機及び増設ユニットのどの入力端子の表示を行うかの設定が違ってないかご確認下さい。「2-1-5. 表示位置の確認」(P18)
	他の送信機から電波が出ていませんか？ →混信の可能性があります。同じ通信チャンネルの送信機が同一エリアにある場合は、どちらかを違う通信チャンネルに変更して下さい。
	電波の到達範囲外で使用していませんか？ →電波の到達範囲内でご使用下さい。 (到達範囲の確認は、本装置設置時に実施して下さい。)
正しく表示されない時	他の送信機から電波が出ていませんか？ →混信の可能性があります。同じ通信チャンネルの送信機が同一エリアにある場合は、どちらかを違う通信チャンネルに変更して下さい。
	電波の到達範囲外で使用していませんか？ →電波の到達範囲内でご使用下さい。 (到達範囲の確認は、本装置設置時に実施して下さい。)

3-2. おかしいな?と思ったら

正常な状態でご使用中に、万一機器の異常が確認されたときには、「3-1. トラブルシューティング」をご覧ください。

対策を行っても現象が改善されない場合や、対策方法が不明の場合は

製品名・製造番号・使用環境
 接続している外部機器
 異常発生までの処理手順
 具体的な発生内容など

を、お買い上げの販売代理店、または弊社営業部までお問い合わせ下さい。

ご使用になられる方がユニットを分解・改造して使用することは、法律で禁止されており、罰せられることがあります。

3-3. 保証

本規定はお買い上げになられた製品を安心してご利用いただけるよう出荷後の保証について弊社が定めたものです。弊社製品が故障した場合は、この規定に基づき修理・交換いたします。

■保証期間

保証期間は他に定めのない限り弊社からの製品出荷後13ヵ月となります。

保証期間内は、保証規定の定めにより弊社にて無償修理致します。

保証期間中の修理やアフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または弊社営業部までご相談下さい。

■保証範囲

上記範囲内に当社の責任による故障が発生した場合は、無償での代替品との交換または修理をさせていただきますので、お買い上げの販売店、または弊社営業部にお申し出下さい。なお、代替品との交換または修理を行った場合の保証期間は対象製品の当初出荷日から13ヵ月又は代替品出荷から6ヵ月のいずれか遅く訪れる日までとします。また保証範囲は、本製品のハードウェアに限らせていただきます。

保証期間内においても以下の各号に該当する場合には保証の対象外とさせていただきます。

1. お客様による輸送・移動時の落下、衝撃等、お客様のお取扱いが適正でないために生じた故障・損傷の場合。
2. お客様による本体の分解や改造による故障の場合。
3. 火災・地震・水害等の天災地変および異常電圧による故障・損傷の場合。
4. 本製品に接続している当社指定機器以外の機器の故障に起因する故障の場合。
5. 本体以外の付属品(AC アダプター、アンテナ、接続ケーブル等)は含みません。
6. 弊社以外で修理・調整・改良した場合。
7. 消耗品や寿命品(バッテリー含む)の交換の場合。
消耗品・寿命品には下記の商品が含まれます。
 - ①各種スイッチ類(リミットスイッチ、押しボタンスイッチ等)
 - ②電池・バッテリー(乾電池、ボタン電池等)
 - ③その他使用により消耗・寿命があるもの
8. 本取扱説明書に記載された使用方法及び注意事項に反するお取扱いによって生じた故障の場合。

■初期不良について

製品出荷日より起算し30日以内を製品初期不良期間とします。期間内にお買い上げの販売店、または弊社営業部にご送付いただき、製品確認後、初期不良とみなされた場合は新品交換または修理対応を無償にて行います。

初期不良の場合、送料は弊社にて負担させていただきます。但し、日本国内の送料に限らせていただきます。

日本国外でご購入及びお買い上げいただいた場合の海外輸送費・保険料・関税等の掛かる費用については別途協議の上、決定することとします。

■免責事項

本製品の故障や障害、その使用によって生じた直接的・間接的な損害、金銭的損失については一切の責任を負いません。

■有償修理対応期間

予備部品の在庫が弊社にある場合に限り、保証期間終了後であっても本製品に対し、生産中止後5年間は有償にて修理対応致します。但し、使用部品の廃止等やむを得ない理由により代替部品の使用又は代替機により対応させていただくことがあります。

■その他

- 保証期間に関係なく、修理は調整等測定機器類の必要上、弊社への持ち込み修理を原則とし、持ち込み時に発生する送料等はお客様の負担とさせていただきます。なお、出張修理を行う場合、または保証期間中に代替機が必要な場合は、有償にて承りますのでお買い上げの販売店または弊社営業部までご相談下さい。
- 修理受付後、弊社技術部門において障害の再現できない場合は、交換・修理を致しかねる場合があります。また、障害の再現をするための技術調査費用を別途請求する場合があります。
- 弊社WEBSITE上及び弊社が提供しているカタログ、マニュアル又は技術資料、その他の資料に記載されている本製品の情報は、お客様にお断りなく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

4. オプション

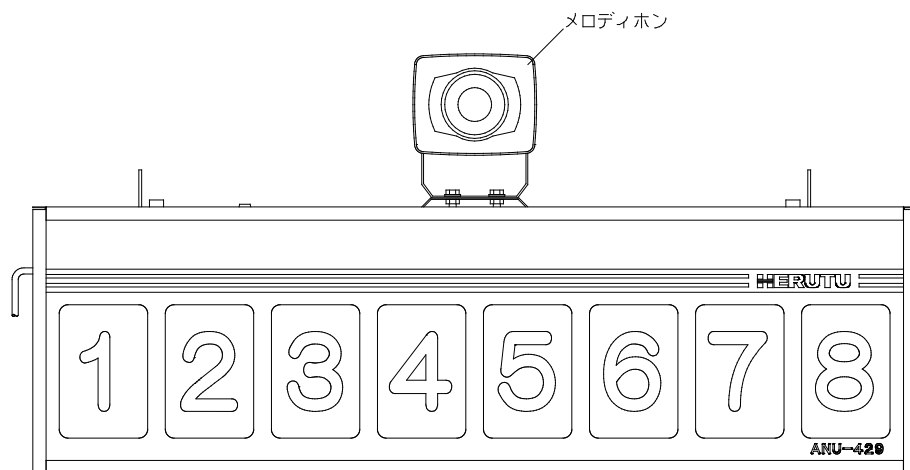
4-1. メロディホン(オプション対応)

4-1-1. メロディホンの動作

表示機(上部)にメロディホンを取り付け、表示灯の点灯(または点滅)と連動して音が鳴ります。
3色表示に連動し、それぞれ別の音色を鳴らすことができます。

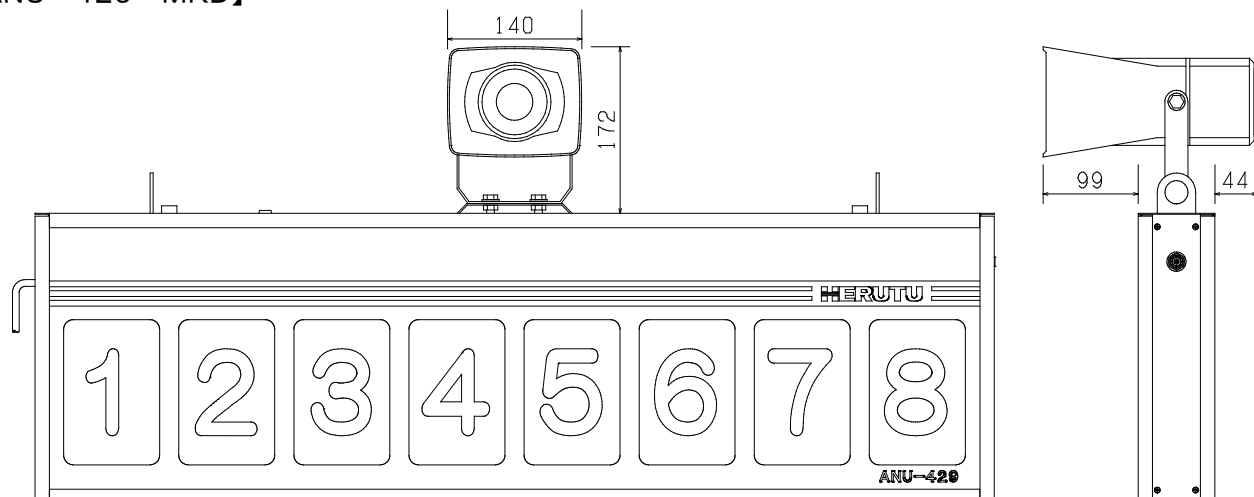
* 音色は優先順位があります。

* 音色は「OC1~3」のオープンコレクタ出力を使用して鳴らすため、他の機器の接続にオープンコレクタ出力は使用できなくなります。



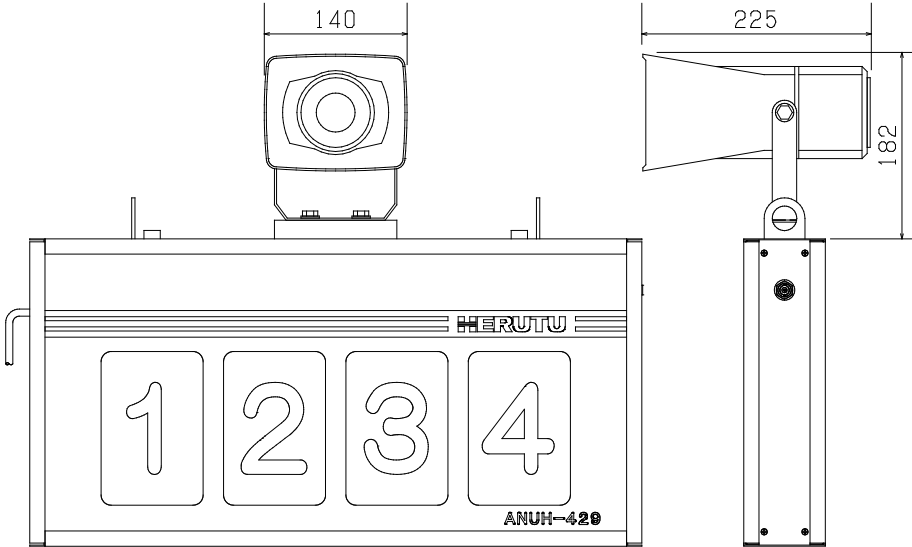
4-1-2. メロディホン付き表示機寸法図

【ANU-429-MRD】

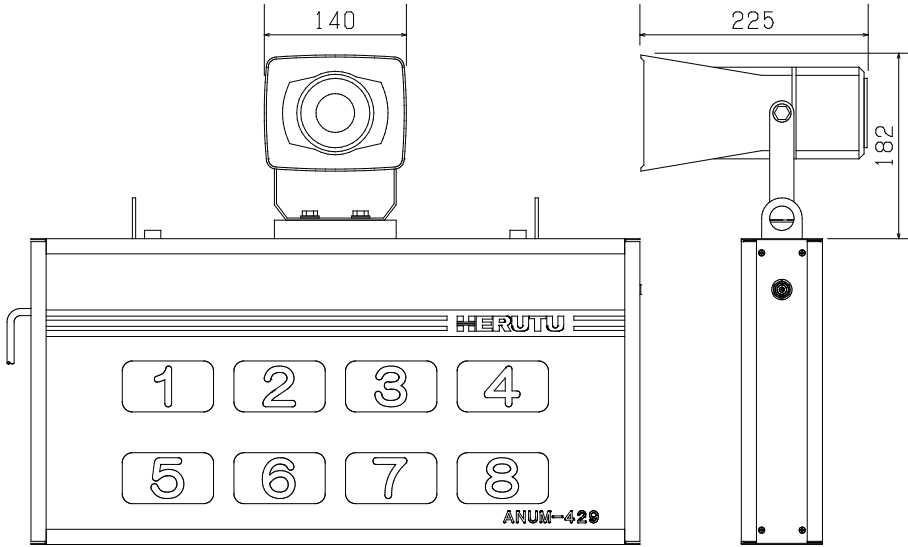


* メロディホン付き表示機の重量は、約1.7kg重くなります。設置時にご注意下さい。

【ANUH-429】



【ANUM-429】



4-1-3. 音色の選択

音色は15グループの中から選択できます。

* 音色一覧表は、取扱説明書(又は、ST-25MM取扱説明書)をご参照下さい。

メロディホンにアロー電子工業製「ST-25MM」(又は「ST-25MM2」)をご利用いただく場合には、下記接続がされた状態で出荷されます。

出力OC1: オレンジ表示と連動(ボタン①) ⇒ メロディホンのCH1に接続します。

出力OC2: 赤表示と連動(ボタン②) ⇒ メロディホンのCH2に接続します。

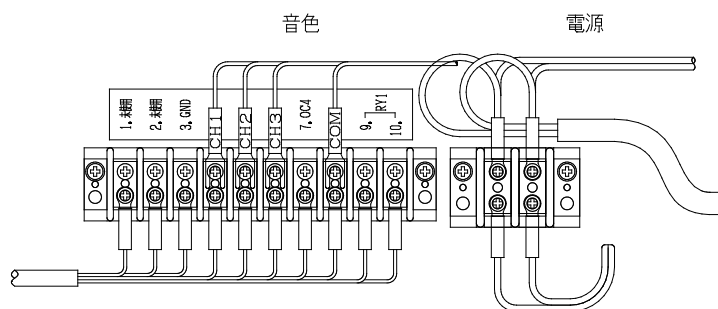
出力OC3: 緑表示と連動(ボタン③) ⇒ メロディホンのCH3に接続します。

メロディホンには優先順位が決まっていますので同時に入力されている状態では

CH1 > CH2 > CH3

の順で優先され音色が鳴ります。

表示色(オレンジ、赤、緑)と音色(及び優先順位)を変更したい場合は、表示装置の内部端子台の接続を変更して下さい。



メロディホンの音色は、音色グループA～Oまでの15グループから選択可能です。好きな音色グループを選んでいただきメロディホンの音色切り替えスイッチで設定して下さい。音色内容については取扱説明書(又は、ST-25MM取扱説明書)をご覧ください。

■メロディホン鳴動時間の設定

メロディホン鳴動時間は内部設定により出力時間を連続/5秒間の2種類が選択できます。

※出荷時は連続出力設定になっています。

※メロディホンの音量は音量ボリュームで0～102dBまで無段階に調節できます。

ST-25MM 音色表

音色 グループ	音色起動信号(緑)			
	1(緑)	2(黄)	3(茶)	4(青)
A	明日があるさ	エレクトリカル パレード	サザエさん	タッチ
B	チャイム音	ピピピピ音	禁じられた遊び	カチューシャ
C	禁じられた遊び	カチューシャ	メリーさんの羊	草競馬
D	チャイム音	ピピピピ音	メリーさんの羊	草競馬
E	チャイム音	ピピピピ音	フリッカー音	ピララ音
F	チャイム音	ピピピピ音	アマリリス	モーツァルト40番
G	アマリリス	モーツァルト40番	明日があるさ	エレクトリカル パレード
H	チャイム音	ピピピピ音	明日があるさ	エレクトリカル パレード
I	ピララ音	ダウン音	非常ベル音	フリッカー音
J	チャイム音	ピピピピ音	サザエさん	タッチ
K	メリーさんの羊	草競馬	アマリリス	モーツァルト40番
L	非常ベル音	フリッカー音	チャイム音	ピピピピ音
M	ダウン音	非常ベル音	チャイム音	ピピピピ音
N	ピララ音	フリッカー音	メリーさんの羊	草競馬
O	ダウン音	非常ベル音	サザエさん	タッチ



ヘルツ電子株式会社

HERUTU ELECTRONICS CORPORATION

〒433-8103 静岡県浜松市北区豊岡町62-1

(営業部) TEL. 053-438-3555 FAX. 053-438-3411

ホームページ <http://www.herutu.co.jp> E-mail webmaster@herutu.co.jp